

第15回

静岡歴史教育研究会



静岡から明治維新を考える —比較史・法思想・歴史教育の視点—

報告者:三谷 博(跡見学園女子大学)

比較史から考える明治維新

コメント①:橋本 誠一(静岡大学人文社会科学部)

法思想から考える明治維新

コメント②:松井 秀明(静岡県立浜松西高校)

歴史教育から考える明治維新

司 会:岩井 淳・貴田 潔(静岡大学人文社会科学部)

本年は明治維新から数えて150年になります。今回の研究会は、「静岡から明治維新を考える」という共通テーマを設け、三谷先生・橋本先生・松井先生というお三方に報告とコメントをお願いしました。明治維新研究の第一人者として知られる三谷先生からは、世界史的な視点で明治維新を語っていただきます。橋本先生と松井先生には、法思想と歴史教育という視点から、それぞれ明治維新に関するコメントをいただきます。本年は、各団体が明治以降の150年を検討する催しを実施あるいは計画しています。政府の内閣官房が中心となり、様々な省庁を巻き込んで推進している「明治150年」関連施策があります。本研究会では、政府関係の行事とは一線を画し、地域から明治維新を考えてみたいと思います。みなさん、ふるってご参加ください。

日時:2018年8月9日(木)14:00~18:00

会場:静岡大学人文社会科学部A棟6F大会議室

http://www.shizuoka.ac.jp/access/map_shizuoka.html

入 場:無 料

主 催:静岡大学人文社会科学部学部長裁量経費「歴史教育の地域的基盤を構築する教材・教授方法の探究と高大連携の継続」、静岡歴史教育研究会

問合せ先:岩井 淳(静岡大学人文社会科学部) YQS02036@nifty.com